

平成 29 年度

第 72 回国民体育大会

ソフトボール競技成年男子

期日：2017/6/18 8：57～

場所：美咲町中央運動公園 野球場

準決勝

三菱自動車水島 0 0 0 0

環太平洋大学 15 5 × 20 (3 回 15 点差コールドゲーム)

三：柚木 (0/3) 高市 (2 回 3/3) - 渡辺

環：児玉 (2 回) 片山 (1 回) - 山内 (2 回) 檜田 (1 回)

本塁打：山内、小見山、山本、三谷 (以上環)

三塁打：宇根、浜本 (以上環)

二塁打：山本、奥村 (以上環)

戦評

1 番宇根が 0-1 から右中間を破るスリーベースヒットで出塁、続く 2 番山本が 1-1 から左中間突破のタイムリースリーベースヒットで宇根が生還し幸先よく 1 点を先制。続く 3 番浜本が四球で出塁、無死 1 塁から 4 番山内が左中間スタンドにツーランホームランを叩き込み 4 点。続く 5 番三谷、6 番中村が連続四球を選び無死 1.2 塁として 7 番小見山が 0-2 からレフトスタンドへスリーランホームランで 7 点目。ここで先発投手をノックアウトして代わった 2 番手投手から 8 番奥村が初球をライトオーバーのツーベースヒット、1 死となったが打順は 1 番に戻り宇根が 2-2 からセンター前にはじき返し 1.3 塁と盗塁で 2.3 塁と攻め 2 番山本が 1-1 からセンターバックスクリーンへスリーランを叩き込み 10 点目、この回、後続も四死球をきっかけに相手守備の乱れに乗じて加点し、初回に 15 点のビックイニングとなった。2 回にはこの回先頭の 2 番山本が四球で出塁、3 番浜本が 1-1 から右中間を深々と破るタイムリースリーベースヒットで 1 点追加、1 死後 5 番三谷は初球をとらえ左中間スタンドへツーランホームラン、その後も三連打によりこの回 2 点を加えて 20 得点と大量リード。先発の児玉は低めに丁寧な投球で 2 回を死球の走者は許したがダブルプレーにより無失点に抑え、代わった片山も 1 回を被安打 1 に抑え 20-0 (規定により 3 回コールド) で勝利した。